

令和8年度第1回三次市男女共同参画審議会 会議要旨

- | | |
|---------|--|
| 1. 日 時 | 令和8年9月17日(木) 10:00~11:30 |
| 2. 会 場 | 三次市役所本館3階会議室 |
| 3. 出席者 | 会 長 村田 和賀代
副会長 山崎 輝雄
委 員 大田 浩之
委 員 小田 笑子
委 員 岡田 美津子
委 員 河野 直樹
委 員 佐々木 より子
委 員 木村 直美
委 員 牧原 欣治 |
| 欠席者 | 委 員 八谷 尚幸
委 員 西川 剛
委 員 新田 茜 |
| 事務局 | 三次市地域共創部 部長
三次市共生社会推進課 課長
三次市共生社会推進課共生社会推進係 係長
三次市共生社会推進課共生社会推進係 係員 |
| 4. 報 告 | 男女共同参画審議委員の職務継続について |
| 5. 議 事 | 男女共同参画の推進に関する年次報告について
三次市男女共同参画基本計画(第4次)の振り返りについて
三次市男女共同参画基本計画(第5次)骨子案について |
| 6. 配布資料 | ・次第
・三次市男女共同参画審議会委員一覧
・令和 7(2025)年度版男女共同参画の推進に関する年次報告書
・三次市男女共同参画基本計画(第4次)の振り返りについて
・三次市男女共同参画基本計画(第5次)骨子案について
・三次市男女共同参画審議会委員の職務継続について
・承諾書・返信用封筒 |

7. 会議内容

(1) 開 会

(2) 委員紹介

(3) 報告事項

男女共同参画審議委員の職務継続について

委 員:任期は10月27日までだが、承諾書の提出締切は10月30日でよい。

事務局:承諾書の日付は10月27日までとし、10月30日までに到着するようにお願いする。

(4) 議 事①

男女共同参画の推進に関する年次報告及び三次市男女共同参画基本計画(第4次)の振り返りについて

委 員:年次報告書18ページ「生涯を通じた健康支援」について、「国保特定検診受診率」を見ると、検診を受診する人が少ないことに驚いている。周知はしていると思うが、受診率を向上させる必要があるのではないか。

事務局:市としても周知を強化していく。一方で、女性の就業率が高くなっており、社会保険を通じて事業所で検診を受けている場合もあり、数字が上がりにくい状況があるとも考えられる。ただし、受診率の改善は必要であるため、次期計画に盛り込む。

委 員:年次報告書16ページ「社会通念・しきたりの上で、男女が平等であると感じている人の割合」について、目標値が低いと感じる。高齢者が増加する中で、男女平等に関する意識をより重視するべきではないか。

事務局:目標値の設定については、計画策定時の基準値であるアンケート結果の数値が低かったため、目標値にも影響したと考えられる。次期計画における目標値については改めて検討する。

委 員:年次報告書7ページ「仕事と生活の両立支援及び理解の促進」について、「積極的に育児をしている父親の割合」の指標が高くなっている。家庭内での役割分担や協力する視点も重要ではないか。

事務局:子どもとの関わりは幼少期だけでなく、継続的に関わる必要がある。次期計画において、協力し合う視点を盛り込むことを検討する。

委 員:年次報告書20ページ「各種ハラスメント対策」において、相談窓口を設置している事業所の割合が52.3%であるが、法律では100%が求められるため、目標値が低いと感じる。認定事業主制度についても周知に協力してほしい。

事務局:男女共同参画に関する事業所への情報共有を進める。

委 員:男女共同参画基本計画(第4次)の振り返り1ページ「社会全体として男女平等であると感じる市民の割合」が令和7年度に20.1%であるが、この数字はアンケート集計結果か。

事務局:市民及び事業所を対象に実施したアンケートの集計結果である。

委 員:アンケート回収率が32.3%であるが、実態をより反映するためには回収率の向上を検討する必要があるのではないか。(意見のみ)

委員:男女差別やパワハラ、SNS 問題などをテーマとした人権教室を実施しているが、参加校が増えない。周知に協力してほしい。

事務局:学校に対しては年度当初に実施計画を示すため、それまでに周知を行うよう検討する。

委員:振り返り6ページ「SNS 相談ライン等の導入」について、次期計画以降での導入を予定しているのか。

事務局:その通りである。

委員: SNS 相談ライン等の導入に関する先行事例はあるのか。

事務局:法務局において取り組みが進められている。

(4) 議 事② 三次市男女共同参画基本計画(第5次)骨子案について

委員:今後想定される社会情勢の変化を踏まえた素案を作成してほしい。

事務局:新計画には現在の社会情勢に即した内容を盛り込む。

委員:骨子案4ページ「ワーク・ライフ・バランス」について、男性が育児に関わる割合が高いことから、三次市の育児休業取得率を目標値として設定してはどうか。厚生労働省の両立支援助成金についても周知してほしい。

事務局:男性の育児休業取得率については事業所アンケートで把握している。育児休業取得者へのフォローが課題であり、国や県の制度を事業所へ周知する必要があると考えている。これらを計画に盛り込む。

(5)閉 会